

平成 29 年度(2017 年度) 事業報告

平成 29 年 (2017 年) 1 月 1 日～12 月 31 日

I 事業実施報告

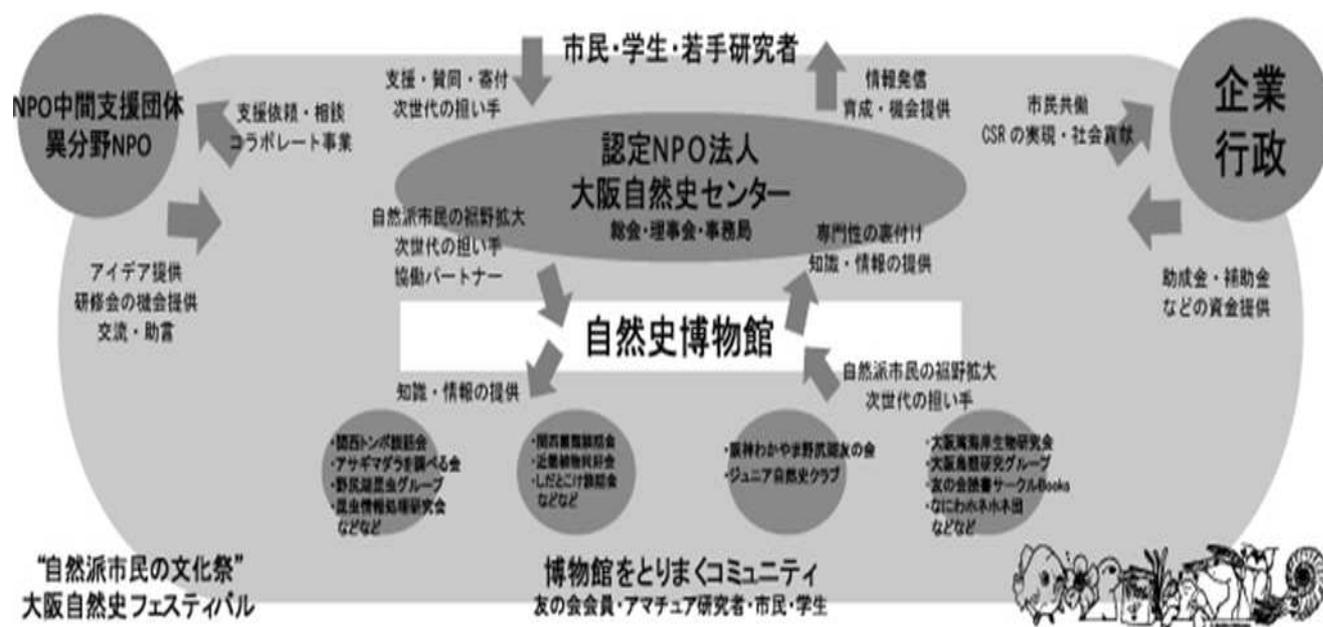
大阪自然史センター(以下、センター)は、大阪市立自然史博物館友の会(1955 年 5 月発足)事業を中心に発展し、2017 年には16周年を迎えました。広く自然史科学の発展と普及にとり組み、大阪市立自然史博物館の事業進展に寄与することを通して、自然に対する理解を深めることを目的とし事業を実施してきました。

未来の世代たちが豊かな社会を築くためには、自然史知の視点を持ち続けていく努力が不可欠とされています。センターのミッションでもある自然史科学の普及啓発は、自然を見る、見つめる、見続ける機会をより多く作り、多様な自然を楽しく学び、大切に思う気持ちをますます高めて、持続可能な社会を創造していくことに活動意義を感じるところです。

2017 年も社員はじめ各事業関係者の支援と協力を得て、継続事業や新規事業をセンターならではの視点で展開しました。また、2016 年度には運営できなかつたミュージアムショップを再開できました。このほか、パナソニックの助成を受けた経営基盤強化事業の一環として、ミュージアムサービス事業や普及啓発事業に新たな経営視点を取り入れて展開しました。

このほか経営基盤強化事業では、職員自らがセンター運営に多くの課題をあげ、これからの10年間を見据えて中期の基盤強化計画を立てました。具体的にはセンター関係者の持つスキルを整理し、対象となる顧客(=市場)を拡げ、社会に向けて自然史知を価値として届けたいと考えています。そのためには、意欲・経験・技能を併せ持つ社員の皆様にもセンター事業にどんどん参加していただき、ミッション・ビジョンの実現をめざしていこうとしています。

今後とも、より広く社会に賛同者を得るべく、基盤となる理事会・事務局体制の一層の充実と職員資質の向上を図り、少数精鋭でフレキシブルに対応する組織で運営します。また、日常的なコミュニケーションをより深化させ、関係者の意欲が形となる活動をめざします。機会をとらえてどんどん出かけ、自然が身近なことに気づいてもらえる機会をつくってユーザーコミュニティを拡充し、自然に親しもうとする市民・市民団体とともに「自然史科学の発展と普及」に資する事業展開につなげていきたいと考えています。



II 各事業について

1. 友の会事業

[内 容]

大阪市立自然史博物館友の会を組織し、会報 Nature Study 毎月の12回発行と月例ハイキングや友の会合宿など自然観察事業を実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館および大阪府内など

[日 時]

平成29年通年

[対象者]

大阪市立自然史博物館友の会へ入会した市民等 1639名(うち賛助会員87名)

2. ミュージアムサービス事業

[内 容]

大阪市立自然史博物館・花と緑と自然の情報センターへの来館・来場者に自然史科学の普及およびサービスを実施するため大阪市から占用許可を受け、定期的な博物館との連絡会を設け博物館の掲げる趣旨に沿って自然史に関する書籍、グッズ等の提供し、春・夏・秋の特別展示をはじめ各種イベント開催にあわせ提供物品を充実させ博物館来場者・博物館ファンの満足を得られるよう物品サービスの提供に努めた。

4月1日より自然史博物館ミュージアムショップ店舗の運営再開が叶い、装いも新たに再スタートを切りました。学会・イベント等の出張ショップ、全国のミュージアムショップへの委託・卸販売など、2016年度にいただいたご縁も継続させながら、店舗の運営と平行させて事業展開を行った。

自然史系博物館や書店への卸、「苔展(兵庫、京都)」、「博物ふえすていばる!(東京)」、「神保町ウonderカンマー2017(東京)」、「いきもにあ(京都)」など学会や生き物をテーマにしたイベントに46回出店販売するなど、外部への販路拡大に努めた。ネット販売にも力を入れ、前年同様に多くの方々にご利用いただいた。

また、商品開発部門では、オリジナル商品の利益率を見直し、全面的な価格改定を行った。

2017年に企画した新商品は、「タコとたこつぼTシャツ」、「ナガスケ&マッコフェイスタオル」、「カブトガニフェイスタオル」、「瀬戸内海の自然クリアファイル」、「瀬戸内海の自然マスクングテープ」、「瀬戸内海の自然マスクングテープ」 「アリジゴククリアファイル」ほか。

[場 所]

大阪市立自然史博物館ほか各種学会・イベント等

[日 時]

平成29年通年

[対象者]

一般来館者・各種学会・イベント参加者等

3. ボランティア事業

実施なし

4. 出版事業

[内 容]

自然史科学の書籍の発刊企画を行い、自然観察を通じて自然史科学の普及に努める準備をした。今年度は「ヘビイチゴを調べる」を出版した。

5. 調査研究受託事業

[内 容]

自然史科学の振興のための貝塚市自然環境保全基本調査・大阪市内生物多様性現況調査・大阪生物多様性普及キャンペーン・第5次レッドリスト作成のための調査・能勢町標本整理等業務を受託・実施した。

[日 時]

平成 29 年通年

[場 所]

大阪府内等

6. 普及教育事業

[内 容]

自然史科学の普及教育のため大阪自然史フェスティバル等の各種イベント・事業のチラシ・資料・看板等作成、ワークショップなどを受託・実施した。また、博物館等維持管理の一環として大阪市立自然史博物館子ども向けワークショップ業務、大阪市立天王寺動物園から動物剥製標本修復事業を受託実施した。キッズプラザ大阪生態展示「アリコロカナギス」維持管理業務、池田市立五月山動物園ワークショップ業務、東北支援こどもワークショップ業務、天王寺動物園教育プログラム作成業務等を受託実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館、大阪市立天王寺動植物園、キッズプラザ大阪、池田市立五月山動物園、大阪府内など

[実施日時]

平成 29 年通年

7. 自然保護・自然環境保全に関する事業

関西自然保護機構

[内 容]

関西自然保護機構を組織し、会誌の発行、シンポジウムの開催、研究支援事業の実施、自然保護に関する提言、調査研究の受託、その他機構の目的を達成するために必要な事業を実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館、大阪府内など

[日 時]

平成 29 年通年

8. 施設運営管理事業

高槻市立自然博物館の施設管理運営事業

[内 容]

自然史科学の振興普及および自然保護・自然環境の保全に関する体験施設の運営管理事業として、高槻市立自然博物館(前高槻市芥川緑地資料館)の施設管理運営事業を、地元の NPO 法人芥川倶楽部と大阪自然史センターが共同で「あくあびあ芥川共同活動体」を組織し、センターが主に人事経理総務部門を受け持ち、高槻市の仕様にに基づき施設の維持管理及び博物館運営に取り組んだ。

[場 所]

高槻市南平台 5-59-1 高槻市立自然博物館

[事業期間] 平成 29 年度から 33 年度末まで

Ⅲ 社員総会の開催状況

[名 称] 平成 28(2016)年度(第 16 期)定期総会
[場 所] 大阪市立自然史博物館集会室
[日 時] 平成 29 (2017) 年 2 月 4 日 (土) 午後 3 時 00 分～4 時 30 分
[出席者数] 45 名 (社員総数 70 名 本人出席 22 名、委任状出席 23 名)
[内 容]

議 事

第 1 号議案. 平成 28 (2016) 年度事業報告 (事業報告書参照)

事務局から定款記載の事業を例年どおり実施したことが報告され、出席社員の満場の一致をもって平成 28 (2016) 年度事業報告を承認した。

第 2 号議案. 平成 28 (2016) 年度収支決算報告 (財産目録、貸借対照表、損益計算書、活動計算書参照)

事務局から決算内容が説明され、監事から監査報告があり、出席社員の満場の一致をもって平成 28 (2016) 年度決算を承認した。

第 3 号議案. 平成 29・30 (2017・2018) 年度事業計画 (事業計画書参照)

事務局から定款記載の事業を実施する旨の提案説明があり、事業計画資料については監督官庁の指示に基づき文言を修正することがある旨を了承し、出席社員の満場の一致をもって平成 29・30 (2017・2018) 年度事業計画を承認した。

第 4 号議案. 平成 29・30 (2017・2018) 年度活動予算 (活動予算書参照)

事務局から提案説明し、一部誤植を修正し、また、監督官庁の指示に基づき文言を修正することがある旨を了承し、出席社員の満場の一致をもって平成 29・30 (2017・2018) 年度予算を承認した。

第 5 号議案. 役員の任期満了による改選について

議長は、役員全員が任期満了につきその選任方法を議場に諮ったところ出席社員の満場の一致をもって次の者が役員に選任され、被選任者は、いずれもその就任を承諾した。

理事 (再任) 11 名

梅原 徹・道盛正樹・奥平敬元・白木江都子・篠沢健太・天満和久・上田和歌子
波戸岡(前迫)ゆり・丸山健一郎・楠井 晴雄・井上 淳

監事 (再任) 2 名

加納康嗣・左木山祝一

Ⅳ 理事会の開催状況

第 1 回理事会

[名 称] 平成 29(2017)年度第 1 回理事会
[場 所] 大阪市立自然史博物館 会議室
[日 時] 平成 29(2017)年 2 月 4 日(土)午後 1 時 00 分～2 時 50 分
[出席者数] 10 名 (総数 12 名 本人出席 8 名、議決権行使書 2 名)
[内 容]

議 事

議題 1 パナソニック NPO サポートファン組織診断の実施について

2014年に引き続きパナソニック NPO サポートファンドの採択を得て、組織基盤強化に取り組む。今回のテーマは「大阪自然史センターを次世代につなげる経営基盤強化事業」である。現在の中長期計画の評価～再編、現場を中心とする若手理事の育成、外部アドバイザーの選任までを行い、経営基盤の強化に務める。

議題2 平成28年度(2016年度)第17回定期総会に向けて(総会資料参照)

- ① 平成28年度(2016年度)事業報告・決算報告
- ② 平成29・30年度(2017・2018年度)事業計画・活動予算
- ③ 任期満了による役員改選について
現理事12名のうち浦野理事を除く11名は留任
浦野理事は任期満了により退任
現監事2名は留任

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

第2回理事会

[名称] 平成29(2017)年度第2回理事会

[場所] 大阪市立自然史博物館 集会室

[日時] 平成29(2017)年2月4日(土)午後4時40分～5時00分

[出席者数] 9名 (総数11名 本人出席 7名、議決権行使書 2名)

[内容]

議 事

議題1 理事長の選任について

議長は定款第13条の規定に基づき、理事長1名を選任したい旨を述べ、慎重協議した結果、出席理事全員の一致をもって梅原 徹氏が選任された。なお、被選任者は、席上、即時、その就任を承諾した。

第3回理事会

[名称] 平成29(2017)年度第3回理事会

[場所] 大阪市立自然史博物館 会議室

[日時] 平成29(2017)年3月20日(土)午前10時00分～10時30分

[出席者数] 9名 (総数11名 本人出席 5名、議決権行使書 4名)

[内容]

議 事

議題1 パナソニック NPO サポートファンド基盤強化の実施について

本会議のあとに行われる組織基盤強化研修会(講師 川北秀人氏)での結果をもとに本年度の具体的な中期活動計画を事務局に一任する。

議題2 2017年度(平成29年度)事業の進捗について

ショップ事業については4/1から一部オープンの手配を進める。

予算的には家賃がかなりアップするため、大きな組み換えが必要となり、2016年並みの緊縮予算を想定しなければならない。(修正予算の作成)

人件費については定期昇給を見込み、職員の勤務日数を元に戻す方向で考えていく方針であるが、詳細については事務局に一任する。

議題3 就業規則等の改正について

職員就業規則 第28条 1 年次雇用職員就業規則 第26条 1

(現行) 賃金は、基本給は当月17日に支払う。手当は原則として毎月末日に締切り、翌月17日に支払う。ただし、支払日が休日に当たるときはその前日に繰り上げて支払う。

(改正) 賃金は、基本給は当月20日に支払う。手当は原則として毎月末日に締切り、翌月20日に支払う。ただし、支払日が休日に当たるときはその前日に繰り上げて支払う。

今後、基本給と手当を毎月末日締め切り、翌月支払にそろえてはとの提案があり、検討する。

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

第4回理事会

[名称] 平成29(2017)年度第4回理事会

[場所] 大阪市立自然史博物館 会議室

[日時] 平成29(2017)年4月15日(土)午後3時30分～5時50分

[出席者数] 11名 (総数11名 本人出席 8名、議決権行使書 3名)

[内容]

議 事

議題1 2017年度の事業について

- ・イオン「生物多様性日本アワード」の申請
東北支援5年間のまとめを軸に申請予定
- ・助成事業の採択状況
地球環境基金 ワークショップ人材育成事業採択
- ・4/29活動報告会について
東北支援・ショップ運営・組織基盤強化を中心に報告
- ・地域循環共生圏構築検討事業
昨年より3ヵ年間(28～30年)事務業務のまとめ役として
- ・年間スケジュールについて
今年度理事会予定 6/24(土)午後 9/16(土)午後 12/23(土)午後
2018年 2/3(土)午後 理事会・総会
11/23(祝日) 川北氏による研修会

議題2 2017年度の予算について

ショップ運営権の復活による賃借料・人事雇用体制の変更等に伴う修正について事務局に一任する

議題3 パナソニック NPO サポートファンド基盤強化について

組織基盤強化研修会の結果をもとに本年度の具体的な中期活動計画の実施について(資料参照)

1. 報告 博物館の新体制について

金澤・波戸岡・林学芸員が3月で退職、4月より田中・長田・松井学芸員が入職

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

第5回理事会

[名称] 平成29(2017)年度第5回理事会

[場所] 大阪市立自然史博物館 会議室

[日 時] 平成 29(2017)年 8 月 5 日(土)午後 3 時 00 分～5 時 15 分
[出席者数] 9 名 (総数 11 名 本人出席 8 名、議決権行使書 1 名)
[内 容]

議 事

議題 1 2017 年度の事務・事業の進捗について

- ・ 4/29 活動報告会について
東北支援・ショップ運営・組織基盤強化を中心に報告
- ・ 事業の受託・助成事業採択状況
 - *高槻市立博物館のリニューアル化の動きについて
 - *森里川海事業 能勢クリ園等について
 - *能勢野外活動センターや統廃合された小中学校の展示物への提案について
 - *大阪府生物多様性キャンペーンについて
 - *天王寺動物園教育プログラムへの応募について
 - *自然史フェス参加状況について
- ・ 上半期の収支の状況について
収支がひどく悪いわけではないが、ショップ家賃約 100 万円の値上げ分をショップ事業で取り返していく目標は達成できないかもしれない。
ミュージアムサービス事業の売上増が目下課題
- ・ 下半期年間スケジュールについて
7/13 事務局より発送の理事メール添付資料参照

議題 2 パナソニック NPO サポートファンド基盤強化について

- ・ 組織基盤強化研修を踏まえ、本年度の具体的な中期活動計画の検討について
- ・ 9 月 4 日(月)～5 日(火)★基盤強化研修・合宿
- ・ 2017 年パナソニック NPO サポートファンドの継続申請に応募
「事務局を中心とした、将来の世代交代をも視野に入れた人材強化」
(8/4 事務局より発送の理事メール添付資料参照)

議題 3 就業規則の改正について

- ・ 職員の産休・育休等の記述の整備
職員就業規則第 20 条及び年次雇用職員就業規則第 19 条に追加
施行日 平成 29 年 8 月 5 日

職員就業規則第 20 条・年次雇用職員就業規則第 19 条

2. 法人は、育児休業の取得を希望する職員に対して、円滑な育児休業の取得及び職場復帰を支援するために、当該職員ごとに育休復帰支援プランを作成し、同プランに基づく措置を実施する。なお、同プランに基づく措置は、業務の整理・引き継ぎに係る支援、育児休業中の職場に関する情報及び資料の提供を含むものとし、育児休業を取得する職員との面談により把握したニーズに合わせて定め、これを実施する。

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

第 6 回理事会

[名 称] 平成 29(2017)年度第 6 回理事会
[場 所] 大阪市立自然史博物館 会議室

[日 時] 平成 29(2017)年 10 月 29 日(日)午後 3 時 00 分～5 時 30 分

[出席者数] 10 名 (総数 11 名 本人出席 5 名、議決権行使書 5 名)

[内 容]

議 事

議題 1 2017 年度の事務・事業について

- ・上半期の収支の状況 (決算見込み) について
別表について事務局説明 9 月末現在では 400 万円の赤字だが、行政からの受託事業費が越年で収入されるので、最終の帳尻は埋まる予定である。
現金在り高の検討
年度内に現金不足を生じることが想定される。
短期借入金融機関をあたっておく。
事業別管理の扱い (友の会合宿など)
友の会合宿事業の収支を計上するなど、会計原則に沿うように努める。
- ・決算 (貸借対照表) 公告の方法
NPO 法の改正に伴い、公告の方法を定款に記載、総会に議案提出する。
貸借対照表の公告が必要となります。(平成 30 年 10 月 1 日施行予定)
毎事業年度終了後の「資産の総額変更登記」(組合等登記令(第 3 条第 3 項))義務が廃止。
上記義務が廃止される一方で、法人において毎年貸借対照表の公告を行うことが必要。
【貸借対照表の公告は、下記の 4 つの方法から選び、定款への記載が必要です】
 - < 1 > 官報に掲載する方法
 - < 2 > 日刊新聞紙に掲載する方法
 - < 3 > 電子公告による方法 (5 年が経過した日を含む事業年度の末日までの間)
 - < 4 > 法人の主たる事務所において公衆の見やすい場所に掲示する方法 (1 年間)
- ・ショップ販売価額の検討 (友の会会員等の割引)
別表参照
組織経営基盤強化事業の一環で「できることから実施」項目に該当。
原価率に着目して商品価額を検討
ショップオリジナル商品価額の見直し (値上げ) 実施 11/1 から。
その他商品についても新年からを想定し準備中。
会員割引・友の会割引などを改正実施する。
- ・下半期年間スケジュールについて
新規事業の進捗
天王寺動物園教育プログラム策定事業受託
受託金額に沿った成果品となるよう進行管理する
能勢町標本管理事業
2017 年度受託、2018 年度につながる事業を想定している
IHI デザイン受託事業など
- ・事務局運営について
職員の就業体制の変更について
週 4 から週 5 勤務職員へ変更し、事業対応する。
最低賃金への対応について
対象賃金についてはセンター賃金表の直近上位号俸を適用する。
事務処理は事務局に一任する
なお、全体のバランスについては次年度において検討する。

議題 2 パナソニック NPO サポートファンド基盤強化について

- ・組織基盤強化研修を踏まえ、中期活動計画の検討について

ミッション・ビジョンにむけて、変動する環境を見据え、人員体制、財政構造を整えていくため、向こう5年間2022年までの中期計画をまとめた。別紙2018年度パナソ助成事業申請中 具体的な目標値を設定した内容
ミュージアムサービス事業では、ショップ事業と普及教育事業（WS）の展開強化

【参考】「博物館施設の地方独立行政法人化に向けた基本プラン」

<http://www.city.osaka.lg.jp/shiseikaikakushitsu/page/0000224853.html>

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

第7回理事会

[名称] 平成29(2017)年度第7回理事会

[場所] 大阪市立自然史博物館 会議室

[日時] 平成29(2017)年12月23日(土) 午後5時00分～6時45分

[出席者数] 10名 (総数11名 本人出席 9名、議決権行使書 1名)

[内容]

議事

議題1 2017年度の事務・事業について(資料参照)

- ・収支の状況(決算見込み)について
年度末決算においては黒字となっているが、年度がまたがる事業の支出が翌年に持ち越されるため、実質上はとんとんとの見込み。
- ・現金在り高の検討
新規の事業等も増えたが、精算払いのため、収入と支出に時期的なズレが生じ一時的に現金が不足することが予測される。
- ・事業別管理の扱い(友の会合宿など)
友の会合宿など宿泊等を伴う行事については専門業者を通して実施する。
- ・事業の進捗について
受託事業及び助成・協賛一覧にあるよう特に問題なく順調に進んでいる。

議題2 短期借入金の検討について

議題1の現金在り高の検討で述べたように一時的に現金不足が予測されるため、近畿労金にて700万円のつなぎ融資を申し込む。

議題3 パナソニックNPOサポートファンド基盤強化について

- ・中期活動計画について
最終的に事務局でパナソニックへの報告書をまとめ理事に報告する。
次年度についても応募したが、採用されなかった。

議題4 総会の開催について

2018年(平成30年)2月3日(土) 午後1時から理事会
午後3時から総会開催予定

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。